

事業番号	08 03 08	事業改善シート(25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光おもてなし推進事業				担当課	部局	観光部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-1、2-2-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト 9-2-4 信州ブランド確立プロジェクト			課・室	観光誘客課		
	施策の総合的展開	1-02 強みを活かした観光の振興 1 選ばれる観光地づくり			E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	幅広い県民や団体の参画を得て、「おもてなし」を推進する県民運動を展開するとともに、「おもてなし」実践リーダーの育成などを行うことにより、顧客満足度の向上、再来訪の促進を図る。			
現状	○じゃらん宿泊旅行調査(H24)における本県観光に対する評価 総合的な満足度 81.2%(19位) 地元の人へのホスピタリティを感じた 23%(21位) 今後の来訪意向 6.2%(6位)			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県民や県内事業者などの参加による、全县を挙げての事業実施であるため。		
事業内容	① 成果目標(H25)			
	○「観光おもてなし宣言」登録制度の創設 ○信州おもてなし推進県民会議(仮称)の設立			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) H25 (決算) H26 (当初)
	観光おもてなし推進事業 (「ずく出し!知恵出し!おもてなし」プロジェクトの実施)	委託・直接	・「ずく出し!知恵出し!おもてなし」宣言等の募集 ・「信州おもてなし大賞」の表彰 ・「ずく出し!知恵出し!おもてなし」ホームページの開設 ・おもてなし講演会及び信州おもてなしセミナーの開催 ・観光旅行者満足度調査の実施	29,704 29,703
			・「ずく出し!知恵出し!おもてなし」宣言等の募集 ・「信州おもてなし大賞」の表彰 ・「ずく出し!知恵出し!おもてなし」ホームページの運営 ・「信州おもてなし未来塾」の開催 ・業界別おもてなし研修会の開催 ・信州おもてなしフォーラムの開催 ・長野県観光ガイドタクシー乗務員養成講座の開催 観光地活性化活動の実施	18,936
		合計		29,704 29,703 18,936

事業	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
		前年度繰越			
予算額	当初予算	597	697	29,704	18,936
	補正予算		-398		
	合計(A)	597	299	29,704	18,936
	国庫支出金				
Aの財源	県債				
	その他(繰入金)			29,704	18,266
	一般財源	597	299	0	670
ト	決算額(B)	504	299	29,703	
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.50	4.50
	概算人件費(C)	8,258	8,258	12,387	37,161
	概算事業費(B(A)+C)	8,762	8,557	42,090	56,097

項目	H24末(実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
「観光おもてなし宣言」登録制度	—	創設	創設	達成	
信州おもてなし推進県民会議(仮称)	—	設立	設立	達成	
「ずく出し!知恵出し!おもてなし宣言」の登録件数	—	—	1,292件		2,000件
おもてなし人材の育成人数	—	—	—	—	40人

目標に対する成果の状況	「観光おもてなし宣言」の登録制度を創設(11月)し、経済団体、観光関係団体の参加を得て、「おもてなし向上部会」を設立(6月)し、達成。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成26年度は、県内の各業界、各地域の中核となり得る人材に対し、「信州おもてなし未来塾」を開講し、おもてなし向上を牽引するリーダーを養成する。また、県民のおもてなし向上による顧客満足度の向上とリピーターの増加を図るため、平成25年11月より実施している「ずく出し!知恵出し!おもてなし」プロジェクトをさらに推進していく。また、観光地満足度調査において満足度が低い分野(交通・物販)のおもてなし向上を図るため、研修会等を実施していく。
--------------------	---